

 Junshin

2021年度 入学予定者対象

# プレカレッジ・シラバス

埼玉純真短期大学





## 2020年度 プレカレッジ時間割

実施日		1時限目	10:30~11:20	
		2時限目	11:30~12:20	
		3時限目	13:20~14:10	※必修の日は3时限まで
		4時限目	14:20~15:10	※選択の日は4时限まで
1	1月9日(土)	必修) 学長 必修) 加藤 必修) 細田	「建学の精神を理解する」 「保育・教育実習入門～夢をかなえる“初めの一歩”～」 「保育者になるための日本語表現」	
2	1月30日(土)	選択) 伊藤 選択) 持田 選択) 金子 選択) 小澤他	「障がいのある子の理解と支援」 「子どもと環境」 「心理学入門～自己表現できる保育者を目指して～」 「音楽の基礎①とピアノレッスン」	
3	2月15日(月)	必修) 学長 必修) 加藤 必修) 細田	「建学の精神を理解する」 「保育・教育実習入門～夢をかなえる“初めの一歩”～」 「保育者になるための日本語表現」	
4	3月1日(月)	選択) 丸山 選択) 高橋 選択) 布施 選択) 小澤他	「子ども学～子どもの成長とおもちゃの役割～」 「社会的養護I～子どもの権利養護を考える～」 「育ちと学びの心理学～子どもの発達って不思議～」 「音楽の基礎②とピアノレッスン」	

### <履修方法について>

- 1/9(土)、2/15(月)は必修科目の日です。  
できるだけ、どちらか都合の良い日に出席してください。  
(どちらの日も授業内容は同じです。)
- 選択科目設定日も、基本的には4科目受講してください。

### <持ち物>

- ☆上履き
- ☆マスク
- ☆「プレカレッジシラバス」
- ☆筆記用具他、各科目のシラバスに書かれているもの
- ☆昼食（学食は営業しません。売店もありませんので必ずご持参ください）

### <連絡事項>

- 受講する科目的課題（事前学習）は、必ず学習して出席してください。  
課題（事前学習）の用紙はシラバスに同封していますのでそちらをご使用ください。
- 出席希望日については、同封してありますハガキにてお知らせください。
- 時間割は参加人数を調整し当日受付でお伝えします。
- ハガキでの回答後、受講希望の変更がある場合は電話等でご連絡ください。

※ 新型コロナ感染症拡大の状況により、開講が難しくなった場合はご連絡いたします。  
 ※ 体調管理上などの理由で出席が難しい場合は、課題を学習し3月12日(金)までに  
 大学に送付してください。  
 担当教員が添削し、入学前オリエンテーションでお返しします。  
 但し、必修の「保育者になるための日本語表現（細田）」は、入学後に提出してください。



# 目次

必修	「建学の精神を理解する」	学長	..... 1
必修	「保育・教育実習入門～夢をかなえる“初めの一歩”～」	加藤	..... 2
必修	「保育者になるための日本語表現」	細田	..... 3
選択	「障がいのある子の理解と支援」	伊藤	..... 4
選択	「子どもと環境」	持田	..... 5
選択	「心理学入門～自己表現できる保育者を目指して～」	金子	..... 6
選択	「音楽の基礎①②とピアノレッスン」	小澤 他	..... 7
選択	「子ども学～子どもの成長とおもちゃの役割～」	丸山	..... 8
選択	「社会的養護Ⅰ～子どもの権利養護を考える～」	高橋	..... 9
選択	「育ちと学びの心理学～子どもの発達って不思議～」	布施	..... 10



<p><b>科目名</b> 建学の精神を理解する ～信頼される保育者を目指して～</p>	<p><b>科目担当者</b> 藤田 利久</p>
<p><b>【授業のねらい】</b></p> <p>建学の精神「気品・知性・奉仕」に則った考え方や行動をとることができる。</p>	
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>建学の精神「気品・知性・奉仕」の意味するところを理解し、行動へ結びつけられる。</p>	
<p><b>【授業の内容】</b></p> <p>保育者には、知識や技術のほかにも多くのことが求められています。この求められている事柄をひとつずつ卵に喩えてみると、表面に見える硬い殻の部分が「専門知識や技術」を持った「良き職業人」であり、この「保育・教育の知識・技術」を持った人を「保育者」と呼びます。そして、黄身を包む白身の部分が「社会人としての常識やマナー」を備えた「良き社会人」です。卵の中心にある黄身の部分が人として最も重要な部分「人間力」、つまり社会の一員として他人と協調・共同して、相手のために行動できる力を備えた人といえるでしょう。保育者を目指す学生のみなさんには、このひとつの卵と同じようにいろいろな側面が求められているのです。</p> <p>さて、本学園の「建学の精神(学園訓)」が「気品」「知性」「奉仕」であることは、すでに承知のことだと思います。「気品」は常識や良識を備えた「良き社会人」に、「知性」は知識や技術を備えた「良き職業人」に、「奉仕」は核の部分である「人間力(豊かな人間性)」に、それぞれ該当するといえるでしょう。</p> <p>この授業では、この本学の建学の精神(学園訓)「気品・知性・奉仕」の意味するところを自ら考え、理解し、具体的な行動目標とすることができるようになさってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気品: 豊かな感性や社会的常識(エチケットやマナー)や良識を備えた「良き社会人」</li> <li>2. 知性: 知識・技術の修得し考える力(問題発見・解決能力など)を備えた「良き専門家」</li> <li>3. 奉仕: 気品と知性を総合し、他人のために無償で行動できる人間性豊かな「良き人間」</li> </ol> <p>本学に入学する学生のみなさんは、保育者として社会に貢献しようとする目的が明確で職業を強く意識しています。そのみなさんにとって重要なことは、人間対人間の営みであることへの意識と自覚です。つまり核となる「人間力」を高めることだと考えます。</p>	
<p><b>【教科書または参考資料】</b></p> <p>「建学の精神」(気品・知性・奉仕)のプリントを配布</p>	
<p><b>【事前と事後の学習】</b></p> <p>事前：本学の学園訓「建学の精神」について、あなた自身の考え方や解釈を添付のレポート用紙に記入してください。 ※2時間程度はかかる。</p> <p>事後：授業を受けた後、「建学の精神」をまとめる。 ※1時間程度はかかる。</p>	
<p><b>【準備するもの】</b></p> <p>事前学習のプリントと筆記用具・ノートなど</p>	

<p><b>科目名</b> 保育・教育実習入門 ～夢をかなえる“初めの一歩”～</p>	<p><b>科目担当者</b> 加藤 房江</p>
<p><b>【授業のねらい】</b></p>	
<p>保育士資格をはじめとする、本学で設定されている資格や免許を取得するためには、実習の単位を修得することが必須となります。それぞれの資格や免許に対してどのような実習が、どの時期に、どのくらいの期間実施されるのか。また、実習とはどのようなものなのかを学びます。</p>	
<p><b>【到達目標】</b></p>	
<p>資格、免許取得に必要な実習の種類や内容について理解することができる。 幼稚園教育実習における実習先を具体的に選択することができる。</p>	
<p><b>【授業の内容】</b></p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取得希望資格・免許の確認 プレカレッジに参加した時点での希望をお聞きします。</li> <li>2. それぞれの資格・免許について それぞれの資格・免許の特徴や将来の就職先等について知ります。</li> <li>3. 実習の時期と期間 それぞれの実習の時期や期間などについて知ります。</li> <li>4. 実習の流れについて 実習生調書の作成から始まる実習の流れについて知ります。</li> <li>5. 実習の内容について 実習ノートや部分実習・責任実習などについて簡単に学びます。</li> <li>6. 幼稚園実習の実習先の選び方について学びます。</li> </ol>	
<p><b>【教科書または参考資料】</b></p>	
<p>各種資格や免許を取得するために必要な実習の種類や実施時期を記したプリントや実際に使われる書類の見本などを、当日資料として配布し、参考になる本などを見る。</p>	
<p><b>【事前と事後の学習】</b></p>	
<p>事前：自宅から1時間以内で通える幼稚園についてインターネットなどを利用してリストアップする。(自宅から幼稚園までの所要時間は、徒歩・自転車・公共交通機関などをを利用して1時間以内が望ましい。)</p>	
<p>事後：当日配布する実習先希望調査票（幼稚園）を作成する。</p>	
<p><b>【準備するもの】</b></p>	
<p>筆記用具、メモ帳</p>	

<p><b>科目名</b> 保育者になるための日本語表現</p>	<p><b>科目担当者</b> 細田 香織</p>
<p><b>【授業のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に必要な日本語表現力について考え、意見交換をすることで、将来像をより明確に描きながら日本語の学習を行う姿勢を培う。</li> <li>○漢字や敬語等の問題を解き、現在の自らの力を知り、今後の学習に生かす。</li> </ul>	
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>保育者になることを意識した上で、将来必要になる力と現在の自らの日本語表現力を知り、それらを踏まえて今後の学習目標を立てる。</p>	
<p><b>【授業の内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>0. 自己紹介等</li> <li>1. 実習や職場で求められる日本語表現等の力について、園長先生、主任先生方のお話が掲載されたプリントを読み、保育者に必要な能力を考える。</li> <li>2. 保育現場で用いる敬語や漢字の書き取りを行い、自らの力を知り、今後の課題を立てる。</li> </ol>	
<p><b>【教科書または参考資料】</b></p> <p>シラバス持参のこと。 こちらでプリントを用意します。</p>	
<p><b>【事前と事後の学習】</b></p> <p>事前：プレカレッジシラバスにある「必修漢字ノート」を解き、辞書で調べて丸付けをする。 事後：間違えた漢字は赤で正しく書き加える。</p>	
<p><b>【準備するもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語辞典（電子も可）：必ず持ってきてください。</li> <li>○筆記用具</li> <li>○プレカレッジシラバス</li> </ul>	

科目名 障がいのある子の理解と支援 ～子どもの気持ちに寄り添える人に～	科目担当者 伊藤 道雄
--	-------------

### 【授業のねらい】

授業では、障がいのある子の理解を通して、子どもの気持ちに寄り添うことを考えます。私たちは、障がいのある人の奇異な行動等から、びっくりしたり、怖がったり、「なるべく近づかないようにしよう」と思ったりする場合があります。でもその気持ちは、実は障がいのある人を知らないうちに傷つけたりしている場合があります。先生を目指す皆さんには、障がいのある子の気持ちを知り、どの子どもの気持ちをも理解し、寄り添うことのできる素敵なお先生になってほしいと思います。

### 【到達目標】

- 障がいのある子の気持ちを理解することを通じ、子どもに寄り添うことの意味を考える。

### 【授業の内容】

- 障がいのある人を知っていますか。
- 障がいのある人をどのように思っていたでしょう。
- 障がいのある人を、体験してみましょう。
- もし、自分が障がいのある人だったら、どんな気持ちになるでしょう。
- 障がいのある人が努力して生活していることを知りましょう。
- 先生として、どんな配慮が必要か考えましょう。
- 子どもに寄り添うということの大切さを考えましょう。

### 【教科書または参考資料】

当日「障がい」についての資料を配布します。

### 【事前と事後の学習】

事前：「障がいのある人」についての情報を新聞等から見つけましょう。  
事後：障がいのある人はどんなときにどんな努力をしているか考えましょう。

### 【準備するもの】

筆記用具

科目名 子どもと環境	科目担当者 持田 京子
<b>【授業のねらい】</b> 1、我が国の幼稚教育現場の環境を共に考える。 2、保育現場の一年行事の流れとその環境を考える。	
<b>【到達目標】</b> 1、幼稚教育現場に関する見識を深める。 2、我が国の行事とその文化の意味を理解する。	
<b>【授業の内容】</b> 1、我が国の園環境について知る。 2、国における様々な行事を知る。	
<b>【教科書または参考資料】</b> 当日配布プリント	
<b>【事前と事後の学習】</b> 事前：母園（出身園）について調べておく。 事後：配布したプリントにまとめておく。	
<b>【準備するもの】</b> はさみ・黒油性マジック・ボンド	

<p><b>科目名</b> 心理学入門 ～自己表現できる保育者を目指して～</p>	<p><b>科目担当者</b> 金子 智昭</p>
<p><b>【授業のねらい】</b></p> <p>保育者は、子どもをはじめ様々な人を相手とする「対人関係職」である。そのため、自分の想いを上手に伝える「自己表現力」や相手の内面を把握する「他者理解力」など、対人関係にかかわる基本的スキルや態度を身につけることが大切である。本授業では、心理学の領域で扱われている「グループエンカウンター」という体験活動を通して、他者の中での心のあり方(動き)に気づき、自己表現の仕方について考えを深めていく。</p>	
<p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己理解を深め、自己表現の仕方を知る。</li> <li>○円滑なコミュニケーションを図るうえで大切な基本的態度を身につける。</li> <li>○グループエンカウンターの目的と意義を理解する。</li> </ul>	
<p><b>【授業の内容】</b></p> <p>多くの学生が初対面であることが予想されるため、お互いが知り合うためのエクササイズを中心に行う。エクササイズを通して、保育・教育現場で自分を表現するために必要な自己理解や他者理解、心地よいコミュニケーションのあり方などを体験的に学んでいく。授業の構成は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①インストラクション エクササイズのねらいや内容、留意点などを説明する。</li> <li>②エクササイズ 数人のグループで、様々なエクササイズに楽しく取り組む。エクササイズを通して、 1. 自分はどの様な人物なのか気づく(自己理解・発見) 2. ありのままの自分を表現する(自己表現・主張) 3. 相手の意見や考え方を知る(他者理解)、これらの点を学んでいく。</li> <li>③シェアリング エクササイズをして感じたことや気づいたことをグループで語り合い、共有し合う。</li> </ul>	
<p><b>【教科書または参考資料】</b></p> <p>当日、グループエンカウンターに関する資料を配布する。</p>	
<p><b>【事前と事後の学習】</b></p> <p>事前：初対面の人と仲良くなるための体験活動（遊びでも良い）の種類を調べる。 事後：保育・教育場面における、グループエンカウンターの活用事例と活用方法を調べる。</p>	
<p><b>【準備するもの】</b></p> <p>筆記用具</p>	

<p><b>音楽の基礎①②とピアノレッスン</b>  <b>科目名</b> ~入学までに練習しておきたい  <b>子どもの歌とピアノ曲~</b></p>	<p><b>科目担当者</b></p> <p>小澤和恵・小澤俊太郎      浅見彩賀・小川弥輪      鈴木順子・西河由季      野本裕美子</p>
<b>【授業のねらい】</b>	
<p>保育者にとってピアノの演奏は必要不可欠です。      入学前までに練習しておきたい子どもの歌とピアノ曲について、その学習法と練習法をアドバイスします。また、保育者として最低限知っておくべき音楽の基礎についても学びます。      ※特に、ピアノ初心者および初級者の方は、受講するようにしてください。</p>	
<b>【到達目標】</b>	
<p>入学までに必要な弾き歌いとピアノの技術・知識を習得する。</p>	
<b>【授業の内容】</b>	
<p>授業は、合同授業と個人レッスンの両方を行います。どちらも受けて下さい。</p>	
<p>○合同授業</p> <p>入学後、すぐに授業内で学んでいく音楽の基礎（楽典）について学びます。      ピアノ初心者でもわかるように、丁寧に説明します。      ①では、音の読み方など楽譜の基礎について。      ②では、リズムについて。</p>	
<p>○個人レッスン</p> <p>学生一人ひとりのレベルに合わせたレッスンをマンツーマン方式で行います。      バイエルの曲を中心としてレッスンを進めながら、楽譜どおりに正しく弾く力をつけ、表現力のある演奏になるよう指導します。</p>	
<p>※①と②は別の内容の授業です。      ※特にピアノ初心者や不安な方は、①・②両方を受講することをお勧めします。      （①・②どちらか一方の受講でも問題はありません。）</p>	
<b>【教科書または参考資料】</b>	
<p>純真バイエルなど練習中の曲集、持っていない方には「ピアノ講座テキスト」を配布します。      「子どもの歌」や「楽典」の資料を当日配布します。</p>	
<b>【事前と事後の学習】</b>	
<p>事前：バイエルなどのピアノ曲や弾き歌いを数曲練習てくる。      事後：合同授業で配布した資料を復習し、理解する。      個人レッスンでのアドバイスを参考に、ピアノ曲の練習を進める。</p>	
<b>【準備するもの】</b>	
<p>筆記用具      純真バイエルなど、練習中の曲集がある人は持参してください。      また、オープンキャンパスの講座や個人レッスンで配布されたテキストや      楽譜がある人は持参してください。</p>	

<p><b>科目名</b> こども学 ～子どもの成長とおもちゃの役割～</p>	<p><b>科目担当者</b> 丸山 アヤ子</p>
<p><b>【授業のねらい】</b> 子どもの発達における「物的環境」としてのおもちゃの役割は大事です。子どもの発達に即した、年齢毎のおもちゃを紹介し、おもちゃ作りをしましょう。</p>	
<p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの心身の発達について理解し、発達に応じた保育環境としてのおもちゃの役割を学ぶ。</li> <li>○子どもが人と関わる中で成長し、人間として育つ上で大事な道具としてのおもちゃ、文化の継承としてのおもちゃについて理解する。</li> </ul>	
<p><b>【授業の内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの心身の発達における「人的環境」「物的環境」を考えてみましょう。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳～6歳までの発達の姿</li> <li>・保育所・幼稚園における教育の5領域とは？（健康・環境・人間関係・言葉・表現）</li> </ul> </li> <li>2. 年齢毎のおもちゃと役割を紹介します。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳～：関係作（かんけいづく）りの時期 “目と耳が人に向く遊び” のおもちゃ →「あやして！遊ぶことが楽しい！」が発達を促します。</li> <li>・1歳頃～：“大人とやり取り遊び”一緒に遊べるおもちゃ</li> <li>・2歳頃～：“友達を求めて遊ぶ”「まねっこ」「ままごと」⇒見立て遊び開始時期 ※自己主張の時期→喧嘩・取り合いの多い年齢</li> <li>・3歳頃～：“想像を働かせて遊べる”並べ、積み重ね、組み合わせのできるおもちゃ</li> <li>・4歳頃～：“友だちと一緒に遊べる”「おもちゃの組み合わせ」「ルールのある遊び」ができるおもちゃ</li> <li>・5～6歳頃～：“手先の運動の確実さ、集団あそびが活発”になる年齢 →コマ・ケン玉・なわとび・スポーツ玩具等、グループで勝負できるおもちゃ</li> </ul> </li> <li>3. 「おひなさま」を作りましょう。</li> <li>4. 作ったおもちゃで遊んでみましょう。 遊んでみて、作ったおもちゃが、子どもの発達にどのように影響を及ぼすのか、考えましょう。</li> </ol>	
<p><b>【教科書または参考資料】</b> 当日、プリント・おもちゃ作りに必要な材料を配布致します。</p>	
<p><b>【事前と事後の学習】</b> 事前：子どものおもちゃには、どのようなおもちゃがあるか、調べておきましょう。 事後：作ったおもちゃを使って子どもと遊んでみましょう。</p>	
<p><b>【準備するもの】</b> 筆記用具、はさみ、のり</p>	

<p><b>科目名</b> 社会的養護I ～子どもの権利養護を考える～</p>	<p><b>科目担当者</b> 高橋 努</p>
<p><b>【授業のねらい】</b></p> <p>子どもたちが、健やかに育つことを私たちには願っていますが、近年、子ども虐待などのニュースが多数報道されています。そこで、この授業では、子どもにとっての「最善の利益」とは何かについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。</p>	
<p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.児童の権利に関する条約(児童の権利条約)について、理解する</li> <li>2.児童福祉施設について理解する</li> </ol>	
<p><b>【授業の内容】</b></p> <p>ユニセフのホームページ等を参考に、子どもの権利条約の成立経緯について学んでいく。 また、子どもの権利に関する知識を深めた上で、日本における「子ども虐待の現状」について、最新の資料をもとに学び、社会的養護の現状と今後について考えていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）とは</li> <li>2. 日本における子どもの権利条約について</li> <li>3. こども虐待の現状について</li> <li>4. 社会的養護について</li> <li>5. まとめ</li> </ol>	
<p><b>【教科書または参考資料】</b></p> <p>「子どもの権利条約」に関するプリント及び児童虐待の現状に関する資料を配布</p>	
<p><b>【事前と事後の学習】</b></p> <p>事前：ユニセフのホームページを開覧して、成立経緯について調べる 事後：自宅周辺にある児童福祉施設について一覧表を作成する</p>	
<p><b>【準備するもの】</b></p> <p>事前学習として、ユニセフのホームページなどを閲覧し、「児童の権利条約」について学習しておくことが必須です。また、日本にはどのような子どもの権利に関する法律などがあるのかを調べておきましょう。</p>	

科目名 育ちと学びの心理学 ～子どもの発達って不思議～	科目担当者 布施 由起
<p><b>【授業のねらい】</b></p> <p>子どもの発達をうながすために大事な事とはなにか?心理学的視点にたって考えてみましょう。</p>	
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>発達心理学を学び理解することで保育にどのように活かせるのか、その重要性を知る。</p>	
<p><b>【授業の内容】</b></p> <p>保育者として子どもたちの成長を支援するためには、子どもの発達について学んでおくことが大切です。発達心理学を学ぶことがなぜ保育者にとって大切なのか、保育の現場でどのように役に立つかについて学びます。</p>	
<p><b>【教科書または参考資料】</b></p> <p>当日、プリントを配布。</p>	
<p><b>【事前と事後の学習】</b></p> <p>事前：自分がすでに知っている発達の知識や、発達心理学で研究されていると思う内容について書き出してみてください。</p> <p>事後：子どもたちが何歳くらいで、どのようなことができるようになっていくのかについて、身近にいる子どもたちの様子をよく観察しておいてください。</p>	
<p><b>【準備するもの】</b></p> <p>筆記用具</p>	

必修漢字

ノート

Junshin

氏名

# 必修漢字120題

次の120題は、保育者として必要となる漢字です。  
入学してから、テストをしますので  
入学までに、しっかり「書ける」「読める」ようにしておきましょう。

【1】

1	てんこを取る	
2	がくふを見る	
3	みじたくを整える	
4	きんむひょう	
5	おにごっこに加わる	
6	せきにんを感じる	
7	子どものせわをする	
8	へきめんを彩る	
9	どろ遊び	
10	注意をうながす	
11	昼食の量にはいりよする	
12	ほごしゃと話す	
13	ねんどで遊ぶ	
14	けんこうしんだんを受ける	
15	てつぼうに興味を持つ	
16	いふくを片付ける	
17	なわとびをする	
18	ゆうぎしつに移動する	
19	子どものししんを行う	
20	食事のはいぜんをする	

# 必修漢字120題

【2】

1	トイレではいせつの援助をする	
2	くつをそろえる	
3	しょじひんを確認する	
4	風船がふくらむ 	
5	いすを片付ける	
6	うわばきをしまう	
7	ねっちょうしょうに気を付ける	
8	子どもたちをほめる	
9	洋服のちゃくだつ	
10	穴をほる	
11	声をかける	
12	面白いかみしばい	
13	しょうどくえき 	
14	こんざつを避ける	
15	せいかつしゅうかんが乱れる	
16	つみきが崩れる	
17	環境をこうせいする	
18	体調をはあくする	
19	おたんじょうび会	
20	転んでけがをする	

# 必修漢字120題

【3】

1	背の順にせいれつする	
2	遠足にすいとうを持つ	
3	シートをしく	
4	先生にかくにんする	
5	みちびく	
6	お帰りの時間になりこうえんする	
7	力をはつきする	
8	かんきょうせってい	
9	かんきょうこうせい	
10	じしんをもつ	
11	たくじしょに預ける	
12	えんちょうほいく	
13	くつをはく	
14	かばんを持つ 	
15	ひなんくんれんに参加	
16	げたばこにしまう	
17	かんさつじっしゅう	
18	練習のせいかをはつきする	
19	おうとのため休む	
20	げりのため休む	

# 必修漢字120題

【4】

1	きんmuをする	
2	間違った行為をしてきする	
3	こうへいな姿	
4	よいといど	
5	ひみつを守る	
6	先生にしたがう	
7	看病につとめる	
8	試合にのぞむ	
9	物をこうかんする	
10	ほいくほうしん	
11	優しくせつする	
12	ほいくししん	
13	につしを書く	
14	どくだんで進める	
15	発表会できんちゅうする	
16	年少組をたんにんする	
17	しゅにんの先生	
18	えんそくに行く	
19	マットのほじよをする	
20	びひんを確認する	

# 必修漢字120題

【5】

1	ささいな出来事	
2	栄養がかたよる	
3	こていゆうぐで遊ぶ	
4	ふとんに入る	
5	えんていで遊ぶ	
6	せいけつを保つ 	
7	大きい声であいさつをする	
8	かみつきを防ぐ	
9	食事のえんじょをする	
10	きょうみを示す	
11	れんらくちように書く	
12	体調が悪いのでそうたいする	
13	ちこくをする	
14	ちゅうもくをあびる	
15	4歳と5歳のこんごうクラス	
16	きれいにそうじをする	
17	たいそうをする	
18	はしを正しく持って食べる	
19	ろうかを歩く	
20	かいだんを上る	

# 必修漢字120題

【6】

1	こうぎだいで遊ぶ	
2	ていしゅつをする	
3	れいぎを正す	
4	やくそくを守る	
5	あいさつをする	
6	むだん欠席をしない	
7	きんむをする	
8	かいぜんする	
9	先生にうかがう	
10	ちょうにゅうしつで行う	
11	りゅういする	
12	子どもをそうげいする	
13	すいみん時間	
14	とうえんする	
15	えいきょうを受ける	
16	もくよくをする	
17	風邪のかんせんに注意	
18	ぎゃくたいを防ぐ	
19	怪我のちりょう	
20	じょげんする	







**プレカレッジ**

1月 9日土・1月30日土  
2月15日月・3月 1日月

**スクールバス時刻表**

羽生駅西口発	時間	本学発
	50	9
15	10	
	11	
	12	
	13	
	14	30*
	15	50*
	30	50

プレカレッジはスクールバスが出ます。  
ぜひご利用ください。

\*1月9日(土)、2月15日(月)のみ運行。  
最終が14:50です。

## 埼玉純真短期大学

〒348-0045 羽生市下岩瀬430

TEL 048-562-0711

<https://www.sai-junshin.ac.jp>

